

令和8年度第5回TAMA女性センター市民運営委員会 会議概要

開催日時： 令和8年9月1日(火)10:00～11:30

場 所： TAMA女性センター 活動交流室

出席委員：【委員長】野寄理佳子委員、岡田貴子委員、櫻田万里委員、【副委員長】島田直広委員、田中伶委員、藤江美也子委員、吉岡希実子委員(委員長以下 50 音順)

欠席委員： なし

TAMA 女性センター(事務局)： 武井係長、小泉主事

傍 聴 者： なし

司 会： 【委員長】野寄理佳子委員

<配付資料> TAMA女性センター事業概要(令和7年度)

委員より事前に印刷希望があった資料

1. 開会

2. 自己紹介 (委員発言：●)

これまで発表の機会がなかった委員が、自身の興味・関心について発表を行った。

●女子校に通った経験があり、女子校に通っているだけで驚かれることに窮屈な思いをし、女性問題を考えるようになった。徐々に男女の固定観念は薄れてきていると思うが、本当の意味で平等になれるような社会にしていきたい。

3. 今年度の事業について (委員発言：● 事務局発言：□)

(1) 前回の委員会を踏まえて

●前回の委員会で、TAMA女性センターの紹介動画の話があったが、よりイメージを共有したく、作成したものを紹介したい。音声付きの動画を紹介するが、音声が付いていなくてもTAMA女性センターのことを知ってもらうためには効果的だと考える。事業実施時には取り入れたい。

●TAMA女性センターについて、どのようなことができる場所か知らずに事業に参加している人もいと思われ、紹介動画の作成は良いと思う。事業の内容次第だが、取り入れる方向で進めていきたい。

(2) 企画内容の決定(以下、提案のあった料理企画案)

●アイスランド料理 …魚の煮込み料理など

□アイスランド料理を教えられる人がいるか現時点では不明。多摩市ではアイスランド風まちバルを行っており、まちバルに参加している飲食店に協力してもらうことも方法のひとつ。

●友好都市の富士見町の特産品を使った料理 …ルバーブのジャムを使った料理など

□食材はグリナード永山のポンテで調達可能。

●使用したものを参加者がポンテで購入できるので、TAMA女性センターのワークショップルームではなく、消費生活センター調理室での開催が良いのではないか。

□富士見町との友好都市提携 40 周年に合わせて、他部署がノベルティを作成するので、そ

のノベルティを参加者に配布できる可能性がある。

- 再現性（混ぜるだけ、茹でるだけ）の料理 …そばなど
- 人気の YouTuber を講師として呼び出し、その方のレシピを作ってみる
- 参加者がチャレンジできる料理 …普段家庭でつくっているものではなく、馴染みがない料理

→上記案を検討した結果、参加者が料理に使用したものを近くで購入できるという点や多摩市の事業との関連性の高さという点から、消費生活センターの調理室で富士見町に関連した料理企画を実施することになった。実施日はホワイトデー前の土曜日、2/27(土)もしくは 3/6(土)で、施設予約の確認後、決定することになった。

(3) 検討事項

- チャレンジ料理だと、イベント後に親子の会話につながると思う。レシピをお渡しすることで、食べ物だけでなく、工程を振り返って楽しめると思うので、レシピの配布も検討したい。
- 料理企画を行うことを決めたのが情報を取りに行かない層（父親・子ども）に向けてアプローチしたいということが始まりのため、父親と子どもの料理教室というテーマには賛成するが、ひとり親の家庭もあるため、表現方法は改めて検討したい。

●父親と子どもというのが企画のターゲットとなっているが、表現方法も含め、この企画が誰に向けての企画かというところをより明確にし、アプローチ方法を今後検討する必要があると思う。

□参加者を父親と子どもと決めつけるのは、事務局としても懸念がある。シングルマザーやシングルファザー、同性カップルなど色々な家族のかたちがあるため、表現の仕方には配慮が必要である。

- 入り口を料理としているが、料理に焦点が当たるのではなく、参加したことで意識が変わるような事業としたい。参加者が「良い思い出」だけで終わらないようにするために、料理のレクチャーとは別に講演を入れた方が良いと思う。講師は今後検討することになると思うが、ファザーリングジャパンの橋謙太さんを提案する。男性向けの料理教室を行っており、また男女平等に関することについてもお話できる方なため、今回の企画に合うのではないかな。

→検討の結果、料理と講義の講師を両方お願いすることができる方として、ファザーリングジャパンの橋謙太さんにお声がけをすることとなった。結果については、後日共有予定。

4. 次回以降の活動日程

第6回は10月9日(金)10時からということを確認し、料理企画の詳細について検討することとなった。第7回以降については、後日決定予定。

5. その他

前回の委員会で依頼した、アイスランドへの渡航の際に聞いてほしいことについて発表を行った。

- 子どもの好き嫌い（食べ物）の特徴はあるか。親が、苦手なものを食べさせるために工夫していること、克服法などはあるか。
- アイスランドでは日本の料理は食べるか。有名な日本料理、よく食べられているもの、好きなものはあるか。
- 多摩市との友好関係を受けて、多摩市や日本に関連するイベントは実施しているか。

- アイスランドでは EU 加盟について、国民の過半数が反対したため加盟交渉を再開しないと聞いたが、男女平等に関しても EU とのギャップを感じるか。
- アイスランドは、本を読む人がとても多い国と聞いている。日本の若者はスマホばかりで読書離れが進んでいるが、アイスランドの国民・特に若者は何を読んでいるか。日本の本で有名なものはあるか。
- 日本では、小学生や幼児を守る政策やサービスは多いと感じるが、高校生・大学生の若者を守り支えるための仕組みが弱いと感じている。レイキャビク市では、そういった若者世代に対して、社会的に支えるような仕組みはあるか。
- アイスランドで、家庭や子どもに実際に人気の料理（伝統料理ではなくとも、よく食べるもの、食卓によくあがるものなど）はどんなものがあるか。

6. 閉会